

●大阪生物多様性センターにイタセンパラの放流依頼に訪問 3月30日

先日木津川のワンドの調査を行っていただいた福井さんによってトンガリササノハガイが予想を超える密集しているのが発見されました。これでイタセンパラの生育環境があると事務局会で判断して、早速生物多様性センターに状況を報告し、放流の要請に行くべきとの結論に達し、福井さんから約束をとってもらい、里山の会からは大村理事長、福井、播川、森島、金田、太田が要請に出かけました。センターの上原さん、山本さんに対応していただき、淀川の城北ワンドでもイタセンパラが激減しているとか、カネヒラ、シロヒレタビラなどのタナゴ類の生育調査も必要だなどのお話を伺いました。

●連携団体の「自然環境保全京都府ネットワーク」幹事会対面方式で開かれる 3月31日

6年ほど前に丹後地方で世界の蝶々を沢山収集されている方と出会いました。その方のご意見では、標本が山のようになっている、また先日亡くなられた福知山では収集された貴重な資料が処分されてしまったとのこと聞き、胸が痛くなりました。実は里山の会でも木津川の植物の標本が3000点収集していますがそれを集約していただく施設がなく非常に困っていました。そこで京都府自然環境課に相談に行くと、組織を結成しようとなって「ネットワーク」が誕生して、活動を始めました。3月31日に幹事会が開かれ ヤマトサンショウウオの生育地付近の生物調査を行おうと提案がされました。識見の高い専門家によって付近一帯の調査をしていただくことはうれしいことです、里山の会としても歓迎して取り組んでほしいと考えています

●プリントバックに提出まとめ依頼 5日に届く予定 交響プロジェクト成果物記録集7種 4月1日

有田さんを中心に京都府交響プロジェクト交付金事業の報告書をまとめてきましたが、いよいよ7事業の記録集の印刷段階にはいり注文をいたしました。近頃TVのコマーシャルでおなじみのプリントバックをたずねました。なかなか思うよう話が進まず、注文にてこずりました。

●ふるさとまつり…花見乗船体験 Eボート 31家族、121人 カヌーにも多数乗船 4月2日

第14回目のふるさと祭りとして田辺府営団地連合自治会、綴喜西部土地改良区などの協力を得て取り組みました。桜の開花が早く4月2日には満開の状態でしたが、沢山の方々が参加いただきました。ここ2年間にわたってコロナが猛威を振るっていたので開催できなかったもので、準備に戸惑いがありましたが、京都木津川マラソン実行委員会や摂南大学エコシビル部の学生さん・東住宅自治会、藤田カヌー、河川レンジャー、団地朝市の会の皆さんの御協力で盛り上がりしました。特に馬坂川のごみ清掃には防水の胴長靴を身に付けて川に入るなど、ごみ拾いに8人の方々によって雨の中でしたがそのすごい量を拾っていただき美しい川にさせていただきました。ありがとうございました。またEボートとカヌーの二つの乗船場と階段の設置と撤収作業にご苦労さまでした。大きな事故もなく無事に終了できました。この日は大阪の箕面市や奈良の郡山市など遠いところからご参加を頂きました。多くの子どもやご家族に楽しんでいただきました。

●仮事務所へ移転 4月3日

昨年の5月に道路拡張のため協力要請があつて、事務所の移転先を随分探してきましたが、適当な移転先が見つからず今日に至りました。この日は200Kgもある水性の印刷機オルフィス、また油性の印刷機などを移動させました。物置小屋には書類が山のようになって少し不便になっていますが、建替えられて新築されるまで半年間ほどはプレハブでの活動になります。

●2021 年度京都府交響プロジェクト交付金事業報告書 完成

7つのイベント実施で申請いたしました、その報告書（領収書と成果物）がようやくまとめられ、京都府に提出できるところまで処理が進みました。中心となって有田さんが大変な苦勞をしていただきました。300万円の会計をまとめなければなりませんので相当苦しんでいただいたことと思います。ご苦勞様でした。あとは振興局への提出で8日の金曜日に指定されています。

●春の野草を食する会 4月2日現在 55名ぐらいの参加申込が見込まれ、申し込みを締め切りました

そのうち子どもたちは半数を占めているようですので非常に賑やかな取り組みになりそうです。事務局会議ではこれまで里山農園では取り組んだことのない大勢の規模になりますので椅子やテーブルなどの準備が大変です。まして七輪での火気を使いテンプラなどに高温の油を使いますので危険が伴うものですから安定した足場が必要です。教育棟周辺では草刈りなど、徹底した準備が求められます。



参加者募集

春の野草を食する会

4月10日（日）募集人数3組

参加費□会員400円□小人無料□現地受付で

集合10:00~12:30□青賢寺小学校前□時間に移動□里山農園

里山の会一番の楽しいひと時で、スタッフの多くは常に参加者へのサービスに心を砕かねばなりません。しかし今回は唯一自らが主人公となって手作りの料理を食べられることになります。もちろん初参加者と同じ席で天ぷらなどに舌つづみを打ち、わずかな時間を過ごします。里山の会に参加してよかったと実感できるイベントです。近頃27種類以上の品数が揃います。春のひと時ともに楽しみましょう

これまで採取できた植物

ウシハコベ□セリ□カラシナ□カラスノエンドウ□スイバ□タンポポ□ノイバラ□ヒメジョオン□タネツクバナ□ヨモギ□ミツバ□タラの芽□ユキノシタ□ワラビ□ノビル□コイモロ□サツマイモ□シイタケ等参加申込□メール□tddb25@yob.ne.jp（住所氏名年齢）



主催□NPO□やましろ里山の会

京都市南区西九条15□0774-64-4183（FAX）